



# 関電役員に金が回った・・・

福井県高浜町の元助 役森山栄治氏から関電役員に三億二千万円回った。関電(関西電力)の工事を請け負った吉田開発からは森山氏に三億円渡っていた。どうして二千万違うのか？ 分かりにくい。関電役員は「脅されて返せなかった」等と云う。想像を逞しくすると・・・

「小説」KS電力

昔からだがKS幹部は工事会社に「受注金額を増やすから俺に回せ」と囁いていた。「電気代は総括原価方式。原発も何もかも、かかったコストに利益をのせて決まる。工費が膨らめば電気代を上げれば良い。損しない」「フツフツ国民が払う電力料金を泥棒・・・」

初めはKS幹部にひれ伏した×森氏だが「俺が原発反対に回ったらどうなる？」と凄む。以後、発注は彼の意のまま。消費者の負担が増えてもお構いなし。監査に見つかるので、返しに行ったら「返して自分らだけ逃げるの？ これまで無事だったのはJM党の〇×先生にも回してたからだぜ」と凄まれた。

この経緯が漏れそうになり、記者会見で過去の一部を告白。間違えて×森氏を通る金額に矛盾が出た。さて、KSは第三者委員会に調査を依頼。

(小説終わり)

「泥棒が任命して泥棒した中身を調べる」なんて笑っちゃうね。「これより昔の事は調べなよ」と云われていたりして。

いくら隠しても、ばれて第二の森加計になると思うのだが。あなたはどう思われますか？

## 城ヶ島水道から見る夕富士

神奈川県三浦市三崎町城ヶ島  
二〇一九年九月

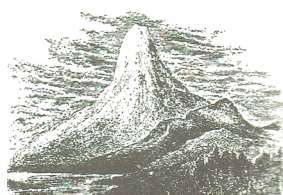


2019.9.28 徹

横浜に住む我々の目には通常、富士と云えば左のように見える。子どもの頃、東京に住んでいたが、富士と云えば台形に描く物と決まっていた。



ところが、イサベラバードの「日本奥地紀行」(高梨健吉訳)には彼女の直筆が載っている。それまでの富士の印象との違いにびっくりした。



ところが、城ヶ島から太陽が西に傾きかけた頃、城ヶ島水道から眺めていると、裾野を大きく広げた富士山が目に入った。

海から見ると富士はこう見えるのだなど、再認識した。

来週は休みます

